
小中池公園
再整備構想(素案)

平成30年4月

千葉県大網白里市

目 次

第1章 小中池公園再整備構想の策定にあたって

1-1 構想の策定目的	1
1-2 小中池公園の区域	1
1-3 構想策定の流れ	2

第2章 小中池公園の概況

2-1 位 置	2
2-2 現 状	2～3
2-3 課 題	3
2-4 観光客数	3
2-5 沿 革（整備経過）	3～4
2-6 現有施設状況	4～9

第3章 公園整備の基本的な考え方

3-1 基本理念	10
3-2 基本方針	11

第4章 今後の取り組み

4-1 公園の整備プロセス	12
4-2 整備の進め方	12

付属資料

小中池公園再整備構想検討委員会条例	14～15
小中池公園再整備構想検討委員会 委員名簿	16
小中池公園再整備構想検討委員会 開催記録	17

第 1 章 小中池公園再整備構想の策定にあたって

1-1 構想の策定目的

小中池公園は、大網白里市小中、J R大網駅より南西約 3km に位置する自然公園であり、子どもからお年寄りまで、市内外から多くの来遊者があり、魅力的な公園となっている。

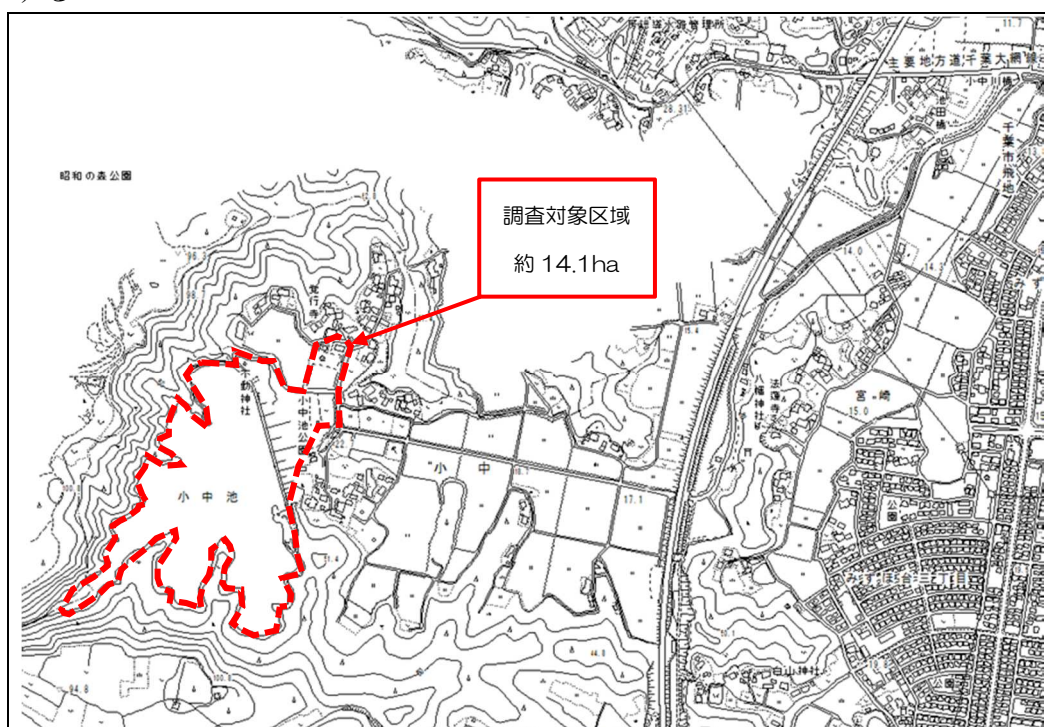
こうした中、園内の遊具等が設置から、20 年以上経過し、老朽化が著しいことから、本公園の将来構想を検討する好機であると考えられる。

公園の機能保全のため環境整備を進めるとともに、小中池の周辺環境を活かした機能の拡充を図り、現在の大網白里市にふさわしい公園になるような小中池公園の再整備構想を策定することを目的とする。

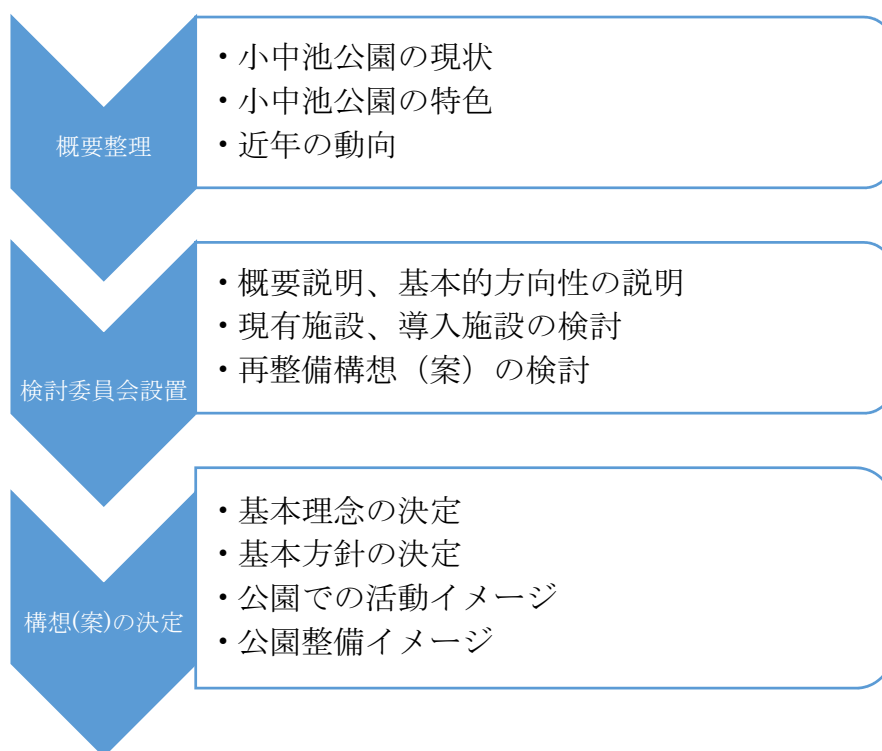
また、構想策定にあたっては、実際に公園を利用する市民等のニーズ、公園に対する思いを反映させたものとするため、委員を一般公募により募集し、広く市民等の意向把握を行うとともに、学識経験者、関係機関からなる委員会を設置し、検討及び取りまとめを行うものである。

1-2 小中池公園の区域

本整備構想は、以下に示す小中池公園約 14.1ha 及びその周辺を対象として策定する



1－3 構想策定の流れ



第2章 小中池公園の概況

2－1 位 置

小中池公園は、J R大網駅より南西約 3km に位置し、駅から徒歩 40 分の距離にあり、千葉市の都市公園「昭和の森」と隣接している。

自動車での広域的アクセスは、千葉東金道路山田 IC から主要地方道山田台大網白里線・千葉大網線などを經由し、8.8 km、約 16 分の距離にある。

また、近傍に設置が予定されている「(仮称) 大網白里スマートインターチェンジ」の供用（平成 31 年 3 月予定）によって、アクセスは向上し、来園者の増加が見込まれる。

2－2 現 状

小中池は、昭和 8（1933）年に着工し、途中第二次世界大戦をはさんで多くの悪条件に悩まされながら昭和 22 年に完成した農業用ため池で、現在も 634 ha の水田を潤している。

この小中池は、県立九十九里自然公園区域に指定され、「関東ふれあいの道」（環境省）のコースの内「昭和の森をたずねるみち」の通過点になっている他、日本のため池百選（平成 22 年 農林水産省）に選ばれている。

小中池の四季は、2 月末から 4 月の菜の花、4 月の桜、4 月下旬～5 月上旬には湖面の上を多数の鯉のぼりが舞う「鯉のぼり祭り」、夏はアジサイ、秋は紅葉、冬は野

鳥の羽やすめの場所でありバードウォッチングと、一年を通して楽しめ市民はもとより遠方からも多くの人々が訪れる公園である。

また、池には子供たちが放流した鯉が群れを成し、その泳ぐ姿は優雅である。なお、釣りは禁止されている。

2-3 課 題

園内の施設は、県内有数の規模を誇るローラー滑り台や、全長120mの木橋（閉鎖中）、木製アスレチック、スカイロップ、コンビネーション遊具、木製ブランコ、滑り台、東屋等が整備されているが、平成8年の開園から20年以上が経過し、多くの施設が老朽化から、修理または撤去・新設する時期に来ている。

また、近傍に設置される圏央道スマートインターチェンジを利用した来遊者の受け皿として観光・レクリエーション機能を有した公園が求められている。

2-4 観光客数

	H26	H27	前年比	H28	前年比
大網白里市	約 265,000 人	約 300,000 人	+約 13%	約 336,000 人	+約 12%
小中池公園	約 47,000 人	約 57,000 人	+約 21%	約 95,000 人	+約 67%

過去3か年の観光客数については、市全体30万人前後で推移しているなか、小中池公園については約4万7千人から約9万5千人、前年比2割から6割程度の増加傾向にあります。

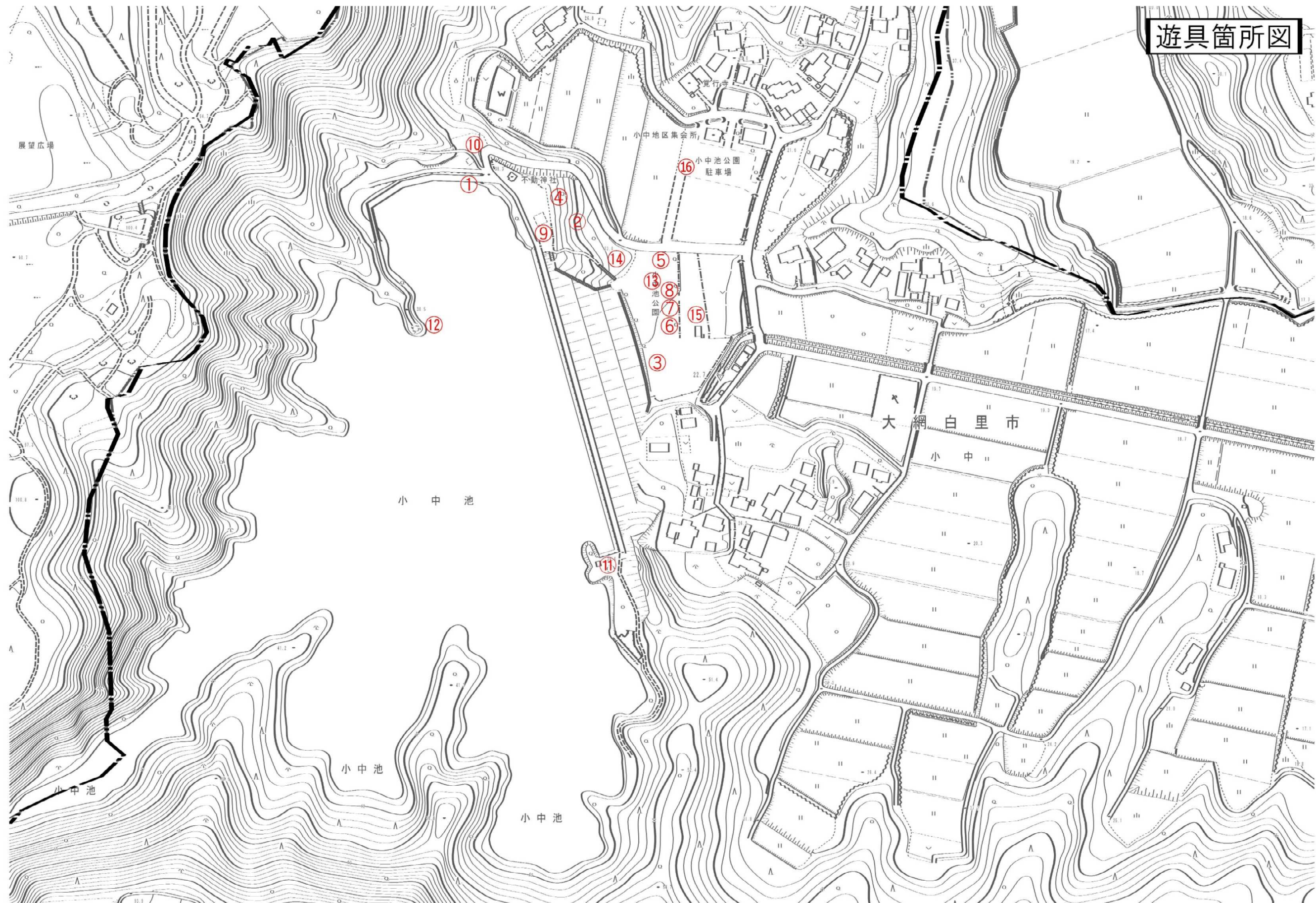
2-5 沿 革（整備経過）

時 期	内 容
昭和8年（1933）	かんがい用のため池として、築造着手 ※最大水深は14.5m 有効貯水量は1,014,000 m ³
昭和22年（1947）	第二次世界大戦中の工事休止を経て完成
昭和28年（1953）～ 昭和29年（1954）	漏水等の補修工事を実施
昭和63年（1988）	昭和62年発生の千葉県東方沖地震により被災した堤体の復旧工事を実施

平成 6 年（1994）～ 平成 7 年（1995）	小中池周辺整備事業 公園施設整備工事を実施
平成 8 年（1996）	小中池公園の開園
平成 17 年（2005）	駐車場拡張工事を実施 A = 1, 950 m ²

2-6 現有施設状況

No.	名 称	概 要	設置年度
1	木橋	全長 120m、幅員 3～5m	H7
2	ローラー滑り台	延長 95m、高低差 17.7m	H8
3	スカイロープ	ターザンロープ、滑り台、ロープ 渡し	H12
4	木製アスレチック		H8
5	コンビネーション遊具	滑り台、ロープ 登り	H12
6	木製ブランコ	2 連	H9
7	滑り台		H9
8	鉄棒	2 連	H9
9	東屋 1	大	H8
10	東屋 2	中	H8
11	東屋 3	中	H8
12	東屋 4	小	H9
13	藤棚	テーブルセット	H8
14	砂場		H8
15	トイレ	男性、女性、身障者用	H9
16	駐車場	142 台	H9・H17



①. 木橋



②. ローラー滑り台



③. スカイロープ



④. 木製アスレチック



⑤. コンビネーション遊具



⑥. 木製ブランコ



⑦. 滑り台



⑧. 鉄棒



⑨. 東屋1



⑩. 東屋2



⑪. 東屋3



⑫. 東屋4



⑬. 藤棚



⑭. 砂場



⑮. トイレ



⑩. 駐車場



第3章 公園整備の基本的な考え方

3-1 基本理念

小中池公園の基本理念を、次の通り設定する。

基本理念（1）

子どもから高齢者まで、幅広い人たちに愛される公園

基本理念（2）

公園の立地、自然環境を活用した 特色ある公園

基本理念（3）

市への愛着を育み、市のシンボルとなる魅力ある公園

3-2 基本方針

小中池公園の基本理念を踏まえ、基本方針を以下の通り設定する。

・市民の手軽な運動の場を提供

ウォーキング・ランニング・サイクリング等、健康づくりの為の環境整備を検討する。
(各種コース設定、散策路整備、サイクルラック、空気入れ、休憩施設等)

・小中池公園及び周辺のサイン整備

公園周辺に道路案内サイン、園内に歩行者案内サイン(園内案内、周辺観光案内、コース案内、市PR、動植物)の設置を検討する。

分かりやすく、かつ景観に配慮したデザインを検討する。

・バリアフリーやユニバーサルデザインを用いた施設整備

高齢者や障がい者だけではなく、多くの方に使いやすい公園施設整備を検討する。

・四季を通じて観光客を誘致できる公園整備

花や緑などを多用した新たな景観の創出を検討する。(畑や堤防法面の有効活用)

・昭和の森との連携

連絡通路の整備、案内看板の設置を検討する。

・S I Cからのアクセスを活かした公園付帯施設の整備

S I Cから公園までのアクセス道路や駐車場の整備を検討する。

・小中池公園を通じて、市全体のPRをし、魅力発信の拠点整備

小中池公園のみならず、市内の他の施設の利用促進や産業の振興に寄与する公園整備を検討する。

・小中池周辺の自然環境を環境学習やレクリエーションの場として活用

子どもたちや全ての世代に対して遊びや学びの機会となる施設整備を検討する。
バードウォッチングに適した環境整備や貸ボートを検討する。

・立地を活かし、市内外へのPR

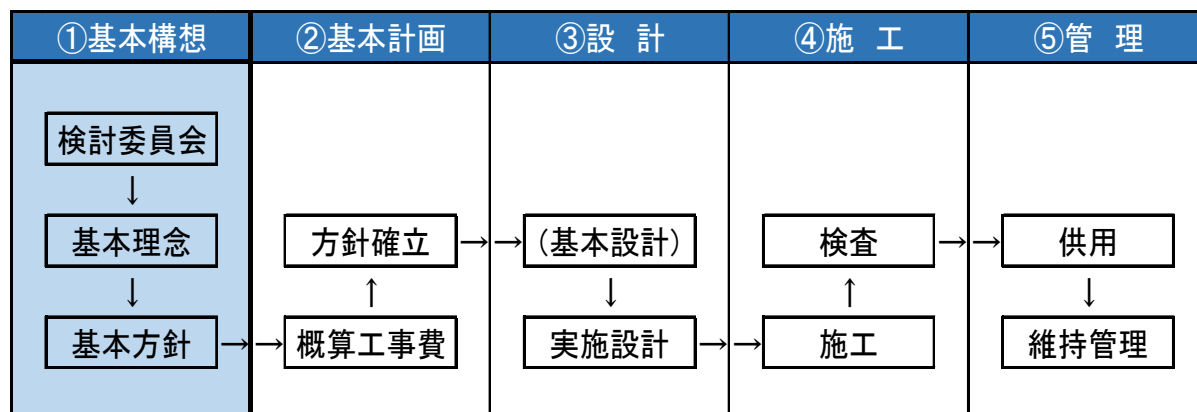
圏央道利用者及び昭和の森利用者へのPR方法を検討する。
四季を通じたイルミネーションを検討する。

・各種イベントに活用できるようなソフト面の充実

インターネット(SNS)、マスメディアの活用を検討する。
パンフレット、マップの作成を検討する。

第4章 今後の取り組み

4-1 公園の整備プロセス



①基本構想

公園の基本理念（テーマ）等を明らかにし、公園整備の基本的方向性（基本方針）を決定する。

②基本計画

基本構想での基本理念、基本方針を踏まえ、施設の規模、配置、形態等を想定するとともに概算工事費を算定し、事業計画の方針を確立する。

③設 計

基本計画において定めた基本的な内容に基づき、設計条件との整合を図り、工事を実施できる設計図書を作成する。

④施 工

設計図書に基づき、公園施設工事を実施する。

⑤管 理

公園施設を常に良好な状態に維持する日常管理を行う。

4-2 整備の進め方

今後、この再整備構想に基づき、関係機関と連携し、財政状況を踏まえながら、大網白里市にふさわしい小中池公園の再整備の実現を目指す。

付 属 資 料

小中池公園再整備構想検討委員会条例

小中池公園再整備構想検討委員会 委員名簿

小中池公園再整備構想検討委員会 開催記録

○大網白里市小中池公園再整備構想検討委員会条例

平成29年9月29日条例第20号

大網白里市小中池公園再整備構想検討委員会条例

(設置)

第1条 市は、小中池公園の再整備構想（以下「再整備構想」という。）を策定するため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項に規定する附属機関として、大網白里市小中池公園再整備構想検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、市長の諮問に応じ、再整備構想の策定に関し必要な調査審議を行う。

(組織)

第3条 委員会は、委員13人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから、市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 関係団体の代表者
- (3) 関係地区の代表者
- (4) 公募による市民
- (5) その他市長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、第2条に規定する市長の諮問に係る答申が終了したときまでとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は委員の互選により定め、副委員長は委員長が指名する。

3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

2 委員会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員会は、必要があると認めるときは、委員会の会議に委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、都市整備課において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（昭和31年条例第25号）の一部を次のように改正する。

別表第1中予防接種健康被害調査委員会委員の項の次に次のように加える。

小中池公園再整備構想検討委員会委員長	日額	6,600円
小中池公園再整備構想検討委員会委員	日額	6,100円

小中池公園再整備構想検討委員会 委員名簿

	種 別	所 属	氏 名	備 考
1	学識経験者	元千葉県職員	伊東 直樹	
2	関係団体の代表者	小中川土地改良区 理事長	小川 清夫	
3		大網白里市観光協会 会長	花澤 房義	
4	関係地区の代表者	瑞穂9区（小中）	武田 隆三	
5	公募による市民		岡田 憲二	
6			恵藤 幸久	
7	関係行政機関 及び市の職員	千葉県山武農業事務所指導管理課長	東條 道宏	
8		大網白里市建設課 参事	石川 達秀	
9		大網白里市財政課長	秋本 勝則	
10		大網白里市企画政策課長	武田 裕行	
11		大網白里市農業振興課長	北山 正憲	
12		大網白里市商工観光課長	鶴岡 一人	平成30年4月25日～ 板倉 洋和
13		大網白里市都市整備課長	林 浩志	平成30年4月25日～ 米倉 正美

小中池公園再整備構想検討委員会 開催記録

回 数	開 催 日 時	開 催 場 所	内 容
第 1 回委員会	平成 29 年 11 月 14 日(火) 13:30～	大網白里市役所 別棟 2 階大会議室	・ 小中池公園の現状と課題について
第 2 回委員会	平成 29 年 12 月 25 日(月) 13:30～	大網白里市役所 別棟 2 階大会議室	・ 前回意見のまとめについて ・ 基本理念（案）策定に伴うキーワードについて
第 3 回委員会	平成 30 年 2 月 1 日(木) 13:30～	大網白里市役所 別棟 2 階大会議室	・ 基本理念（案）について ・ 基本方針について
第 4 回委員会	平成 30 年 3 月 22 日(木) 13:30～	大網白里市中央公民館 1 階講義室	・ 基本方針（案）について
第 5 回委員会	平成 30 年 4 月 25 日(水) 13:30～	大網白里市役所 別棟 2 階大会議室	・ 小中池公園再整備構想（素案）について
第 6 回委員会			